



三星の風

第4号

平成 18 年 7 月 31 日
鹿児島県立
鹿屋高等学校

公開授業 及び

小中高連携意見交換会



七月六日(木)「学力向上における小・中高連携の果たす役割」基礎学力を高めるための「わかる授業」とは」というテーマのもと、日頃行っている授業を公開し、指導内容・指導方法の改善・充実を図るとともに、小中高の連携、地区の教科教育ネットワークを形成することを目的として開催され、小中高の先生方が約百二十名参加されました。国語など四科目の公開授業と意見交換会では、児童生徒の多くの実態などが報告されるところにも、小中高連携のあり方等について熱心な討論がなされました。

1学期クラスマッチ

七月十日(月)午後十時(火)に、クラスマッチが行われました。全員参加で、お互いに競い協力し合い、学級・学校全体の和を深めることを目的としています。どの競技も熱戦が展開されていましたが、今回のクラスマッチが最後となる三年生の活躍が目立ちました。

種目は、バレーボール・サッカー・バスケットボール・ソフトボール・卓球の六種目。クラス単位で炎天下のグラウンドと体育館で行われました。今回は、一年生も総合優勝しました。

(結果) 総合優勝 三年八組、一年一組
バレーボール 第一位 二年四組(男)、三年三組(女) バスケットボール 第一位 二年八組(男)、一年八組(女) サッカー 第一位 一年一組(男)、三年八組(女) ソフトボール 第一位 三年一組(男)、三年二組(女) 卓球 第一位 三年二組(男)、三年四組A(女)



”炎天下の好試合”

九州大会・全国大会へ

県陸上競技選手権大会が、七月七日〜九日に行われ、女子800mで西山可織(鹿屋東中出身)が4位に入賞、さらに女子Jr3000mでは松田奈々(第一鹿屋中出身)が標準記録を突破。すでに標準記録をクリアしていた男子走高跳の木下隼輔(第一鹿屋中出身)と合わせて三名が九州選手権大会への出場権を獲得しました。大会は八月十七日から三日間、佐賀市にて開催されます。

ソフトテニス部は、七月十五日〜十六日佐賀で行われた九州大会に出場し、団体戦で三位となりました。八月六日〜八日のインターハイ(大阪)に出場します。

ボート部は、七月二十三日〜二十四日佐賀の唐津で行われた団体九州ブロック予選で、長屋実央子(鹿屋中出身)が少年女子シングルスカルで惜しくも第2位でしたが、十月の兵庫国体に出場します。また、八月二日からの琵琶湖でのインターハイにも出場します。



”クラスの団結深まる”

部活動紹介 ☆書道部

書道部は現在一年生六名、二年生八名、三年生八名の合計二十二名で活動中です。昨年は『書の甲子園』と呼ばれる「第十四回国際高校生選抜書展」において全国優勝を果たし

ました。個人賞では現二年六組の樋高雄将が最高賞の文部科学大臣奨励賞を受賞し、夢の実現に向けて部員の心が一つにまとまった一年だったと思います。今年度は顧問が変わり、新しい一歩を踏み出しました。『書の甲子園二連覇』へ向けて、毎日限られた時間の中で一生懸命練習に取り組んでいます。又、新たに毛筆・硬筆書写検定への取り組みや、硬筆展への出品、他の書道展へも目を向けて練習に励んでいます。

去る七月十七日(月)、我が鹿屋高校の野球部が県大会準々決勝において、加治木工業高校に五対一で勝利し、準決勝・決勝の全校応援に向けての応援パネルを書道部が書くことになりました。縦八センチ、横一メートルほどの大きな厚紙に、二十名の選手の名前を一名につき三枚、応援歌の題名十曲を各三枚ずつ、全部で九十枚ぐらいたを放課後一気書き上げました。揮毫は三年生が中心になり、一・二年生は準備をしたり書いたものを並べたりと、書道部全員で野球部甲子園への夢のお手伝いをしました。これから色々な形で鹿屋高校書道部、頑張っていきたいと思えます。



第一回学校評議員会

六月二十八日(水)に、「魅力ある学校づくりと本校生に求められる資質」をテーマとして第一回の会が行われました。

学校評議員に、校長から次の四名の方々が委嘱されました。

青山 三郎氏(本校同窓会長)
福留 義之氏(元公立高校長)
松浦 繁子氏(街おこし実行委員)
立石 望氏(鹿屋東中学校長)

会議は、本校の教育活動の現状と課題について説明がなされた後、本校職員と評議員の方々との意見交換がなされました。評議員からは問題点を踏まえた貴重なご意見をいただきました。



今回は、本校の実態を知っていたり、ための会議でしたが、次回は、評議員の方々から具体的な提言をいただく予定です。

演劇部の大先輩来校

五月二十七日(土)、本校演劇部OBが来校されました。五十五年前演劇部を創設されたOBの方々です。演劇部の記念誌発行を機に、学舎に集まり後輩たちと会ってみたいということでの来校でした。当日はその記念誌を寄贈していただき、また来校された十一名の方々との演劇部の生徒たちと話をしている時間を設けて頂くことになりました。現在の演劇部は三人で活動しています。演

劇にルールはなく何人で演じてもいいのですが、演じるられる作品にも制限があり、もう少し部員がいたら...というところ。創設当時は三十名ほどで活動されていたということで、役者はもちろんのこと、照明・音響・舞台・大道具など裏方にいたるまでスタッフが充分揃っていたということでした。ただ人数が多かったというわけではなく、演劇にかける情熱が並々ならぬものだったんだということはお話を伺ってよく伝わってきました。

また、卒業後の進路として演劇に携わる仕事に就いた方が数名いらっしゃいましたが、生徒が感銘を受けていたのは、仕事としての演劇でなく、部活動としての演劇はすばらしいということでした。勉強などいろんな制約もあるなかでの部活動はとにかく楽しかったといえます。そういう気持ちがあったからこそ、今回のような記念誌発行・母校訪問という運びになったのだろうと改めて感じました。



★ 茶道への誘い

茶道同好会の三年生三名が、七月十六(土)日に開催された鹿児島市の宝山ホールでの第二十四回学生合同お茶会に参加しました。毎週木曜日にお稽古をしています。落ち着い

8月の主な行事

- 2日(水) 中学生体験講座
- 3日(木) 夏季課外前期終了(三年)
- 9日(水) 吹奏楽部定期演奏会
- 21日(月) 28日(月) 夏季課外後期
- 26日(日) 模試(2・3年)

て「立礼席」のお運びの役目を果たすことができ、三年間のお稽古の成果が出たと思います。このお茶会は幼稚園児から大学生まで、広い年齢層との交流を通して、お互いを理解し合う良い機会となりました。また今年のテーマは「笑み」。もてなしの心を学ぶ貴重なお茶会でした。参加者の感想を紹介します。

大崎「三年間の締め括りの井茶会で無事自分の役目を果たすことができ、貴重な体験となりました。」

小倉「他校の生徒とお茶会に参加でき、多くの刺激を受けました。まだまだ学ぶことも多いと思いました。できれば大人になっても続けていきたいです。」

柳井谷「お運びは緊張したけれど、テーマが『笑み』ということで相手のことを少しでも考えるようにして笑顔で出来て良かったです。」

写真からみた鹿屋高校「今・昔」



昭33年11月 新館落成



現在の第1棟正面
—全国大会の懸垂幕—

す。周りをちゃんと気遣って行動することが大切だということを学べたと思います。」



お知らせ
校舎の耐震工事が七月二十四日(月)から本格的に始まり、正門や二年生出入口等が閉鎖になりました。今年度いっぱいがかかります。